

### 【今日の説教から】

「数々の力あるわざと奇跡とするしにより、神からつかわされた者であることを、あなたがたに示されたかた」そのイエス・キリスト、ダビデが遙か彼方に「わが主」と呼んだこのお方を不法の人たちの手を借りてあなた方は十字架にかけたのですとの舌鋒鋭いペテロの説教の後、多くの人たちは強く心を刺され、「私たちはどうしたらよいのでしょうか」と尋ねました。

「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受ける」、そして「この曲った時代から救われよ」とペテロは語りました。

不正でいんちきな、非を認めず頑迷、強情で不誠実なごまかしの時代。しかしその邪悪な時代から救いに入った人たちが三千人いました。弟子らは教えと、交わりと聖餐と祈りに生きました。皆の心には神様への畏敬の念が湧きあがりました。その彼らを通して神様の奇跡とするしが湧き起こりました。信仰のうちに共にいた人々の間に共有の心が生まれ、日々心一つにして共に集う彼らの心には率直さと素朴さ、純真さと謙遜が、そしてこの上ない喜びがありました。これはあの「曲がった」状態と正反対です。神様の教えのうちに日々共に集う愛の交わりに、人々の好意が生じ、神様は日々救われる人たちを共に導いてくださいました。私たちの交わりを今日も見ている方々があります。

皆様おはようございます。久しぶりの雨の日曜日となりました。お元気にお過ごしでしたか。主の受難からイースター、そしてペンテコステの続きで一緒に聖書を読み進めてまいりましたが、今日で一区切りとさせていただこうと考えております。

民の贖いのためにその身を捧げて十字架にかかってくださいましたイエス様。そして十字架にかかり、「父よ彼らをお赦し下さい」と祈られたイエス様。そして死んで墓に葬られ、しかし三日目に復活されたイエス様。そしてペンテコステまでの7週間のうちに実に40日も現れて弟子たちを励ましてくださったイエス様。そしてペンテコステの日、お約束の通りに聖霊を与え、弟子たちを力づけ、強め励まし、証し人として派遣してくださいました。

そしてエルサレムの多くの人たちの前でペテロの説教が始まりました。

2:22 イスラエルの人たちよ、今わたしの語ることを聞きなさい。あなたがたがよく知っているとおりに、ナザレ人イエスは、神が彼をとおして、あなたがたの中で行われた数々の力あるわざと奇跡とするしにより、神からつかわされた者であることを、あなたがたに示されたかたであった。

2:23 このイエスが渡されたのは神の定めた計画と予知とによるのであるが、あなたがたは彼を不法の人々の手で十字架につけて殺した。

2:25 ダビデはイエスについてこう言っている、／『わたしは常に目の前に主を見た。主は、わたしが動かされないため、／わたしの右にいて下さるからである。

2:26 それゆえ、わたしの心は楽しみ、／わたしの舌はよろこび歌った。わたしの肉体もまた、望みに生きるであろう。

2:27 あなたは、わたしの魂を黄泉に捨ておくことをせず、／あなたの聖者が朽ち果てるのを、お許しにならない／であろう。

2:28 あなたは、いのちの道をわたしに示し、／み前にあって、わたしを喜びで満たして下さるであろう』。

2:32 このイエスを、神はよみがえらせた。そして、わたしたちは皆その証人なのである。

2:33 それで、イエスは神の右に上げられ、父から約束の聖霊を受けて、それをわたしたちに注がれたのである。このことは、あなたがたが現に見聞きしているとおりである。

2:36 だから、イスラエルの全家は、この事をしかと知っておくがよい。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は、主またキリストとしてお立てになったのである』。

この人並外れたイエス様による奇跡の行いは、他ならない、遣わされた神様の御心によるものであり、ダビデさえこのイエス様のことを預言して、この方の魂は黄泉に捨てておかれず、聖者は朽ち果てることがないと語り、果たしてイエス様にこのことが成就し、イエス様は黄泉に捨て置かれず復活され、その肉体は朽ち果てず、天に帰られ、そしてお約束の通りにいま聖霊を遣わされた。今皆さん方が見ておられるこのことは、イエス様が神様から誠に遣わされたお方であることの如実なる証拠ではないかとペテロは舌鋒鋭く語りました。

そこで聞いた人たちは強く心を刺され、自分たちはそのようにして神様から遣わされたお方に対して何ということをしてしまったのだろうか、深く心を刺され、えぐられたのです。そして彼らは「兄弟たちよ、わたしたちは、どうしたらよいのでしょうか」と言いました。人が神の子に対してあれ程までに残虐極まりないことをして、神様に反抗し、傲慢の限りを尽くして、どうして赦されることがあるのでしょうか。しかしペテロはこう語りました。

2:38 すると、ペテロが答えた、「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう。

2:39 この約束は、われらの主なる神の召しにあずかるすべての者、すなわちあなたがたと、あなたがたの子らと、遠くの者一同とに、与えられているものである』。

2:40 ペテロは、ほかになお多くの言葉であかしをなし、人々に「この曲った時代から救われよ」と言って勧めた。

そのイエス様の吊るし上げられた十字架。それは人が妬みに燃えてイエス様を追いやった

ところのように見えても、実は神様の大きな大きな救いのご計画によるものであったのです。人の、決して言い逃れようもない大きな罪と反逆のしるしである十字架、それは神様による、人の罪の赦しの手段だったのでした。

「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう。」

罪の赦しを頂くばかりか、そのうえ賜物として、プレゼントとして聖霊をもいただく。この赦しと恵みの世界のメッセージに、心刺されえぐられた人たちはどれほど安堵したことでしょうか。

まさに曲がった、邪悪な時代です。不正でいんちきで、詐欺の、非を認めない、頑迷な、強情な不正直で不誠実な、ごまかしの時代。

ヨハネ 1:1 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。

1:2 この言は初めに神と共にあった。

1:3 すべてのものは、これによってできた。できたもののうち、一つとしてこれによらないものはなかった。

1:4 この言に命があった。そしてこの命は人の光であった。

1:5 光はやみの中に輝いている。そして、やみはこれに勝たなかった。

1:6 ここにひとりの人があって、神からつかわされていた。その名をヨハネと言った。

1:7 この人はあかしのためにきた。光についてあかしをし、彼によってすべての人が信じるためである。

1:8 彼は光ではなく、ただ、光についてあかしをするためにきたのである。

1:9 すべての人を照すまことの光があって、世にきた。

1:10 彼は世にいた。そして、世は彼によってできたのであるが、世は彼を知らずにいた。

1:11 彼は自分のところにきたのに、自分の民は彼を受けいれなかった。

1:12 しかし、彼を受けいれた者、すなわち、その名を信じた人々には、彼は神の子となる力を与えたのである。

1:13 それらの人は、血すじによらず、肉の欲によらず、また、人の欲にもよらず、ただ神によって生れたのである。

1:14 そして言は肉体となり、わたしたちのうちに宿った。わたしたちはその栄光を見た。それは父のひとり子としての栄光であって、めぐみとまこととに満ちていた。

3:16 神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる

者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。

3:17 神が御子を世につかわされたのは、世をさばくためではなく、御子によって、この世が救われるためである。

3:18 彼を信じる者は、さばかれない。信じない者は、すでにさばかれている。神のひとり子の名を信じることをしないからである。

3:19 そのさばきというのは、光がこの世にきたのに、人々はそのおこないが悪いために、光よりもやみの方を愛したことである。

3:20 悪を行っている者はみな光を憎む。そして、そのおこないが明るみに出されるのを恐れて、光にこようとはしない。

3:21 しかし、真理を行っている者は光に来る。その人のおこないの、神にあってなされたということが、明らかにされるためである。

光を受け入れようとしない頑迷なこの時代。頑迷な心。物事の真実を捻じ曲げて、自分勝手に解釈し、保身に走り、自らを溺愛して罪のない人を踏み潰す。本当に邪悪で曲がった時代です。私たちはいったいどうすればよいのでしょうか。この答えがまさしく、これなのです。

「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう。」…「この曲った時代から救われよ」

そして今日は、この曲がった時代から救われた、清い生徒たちの交わりについて描かれています。

2:42 そして一同はひたすら、使徒たちの教を守り、信徒の交わりをなし、共にパンをさき、祈をしていた。

彼らはひたすら、教えを守り…、それは今日では聖書を守ることと同じです。そして信徒の交わりをなし、信仰に励まし、教え、助け合い、そしてパンを割き、聖餐を行い、祈りに励み、神様に教えを請い、願い事を捧げていました。

2:43 みんなの者におそれの念が生じ、多くの奇跡とするしとが、使徒たちによって、次々に行われた。

そのようにして過ごす彼らに、神様が伴っていただきました。聖なる恐れ、畏敬、日々

新たな信仰が与えられ、畏敬の念がすべての弟子たちに湧き起こりました。すると、不思議と奇跡が湧き起こりました。「おそのの念が生じ」というこの「生じ」(受身形)という言葉と、「多くの奇跡とするしとが、使徒たちによって、次々に行われた」というこの「行われた」(受身形)という言葉は、ギリシャ語では同じ言葉であり、かつ受身形で書かれた言葉です。恐れを伴った深い信仰心も、不思議や業や奇跡も、すべて神様が恵みをもってお与えになれる出来事です。私たちはその恵みに預かっているのであり、私たちの努力や能力で手繰り寄せているものではありません。それはちょうど私たちが神様からの賜物として聖霊を頂いているのと同じです。

2:44 信者たちはみな一緒にいて、いっさいの物を共有にし、

2:45 資産や持ち物を売っては、必要に応じてみんなの者に分け与えた。

その神様の恵みによる満たしの恵みを信じて、恐れなく主の最上の満たしを信じる弟子たちは、皆一緒にいて、信じる者が共に、一緒に過ごしていました。そして誰彼となく、一人は全ての人のために、すべての人は一人のためにとの共同体の精神がそこにはありました。

2:46 そして日々心を一つにして、絶えず宮もうでをなし、家ではパンをさき、よろこびと、まごころとをもって、食事を共にし、

2:47 神をさんびし、すべての人に好意を持たれていた。そして主は、救われる者を日々仲間に加えて下さったのである。

毎日。すべての人が、一緒に。これらの言葉が今日の箇所のテーマとなるべき言葉です。その静謐。その恐れと感謝、信仰と安心。その中に会いが生まれ、共同体が生まれました。恐れは取り除かれ、日々、皆は共に愛し合い、仕え合い、進み続けました。

そこにはこの上もない喜びがありました。

一つ心で進む。バベルの塔の後言葉が分かれ、分かり合うことが難しく出来なくなった人間が、聖霊により、日々、共に、すべての人が心を一つにすることが出来るようになりました。それは平安であり、和合であり、素晴らしい、この上もない喜びでした。曲がった時代には、人はお互い、誰が上だとか、下だとか言い、誰が富んでいて、誰が貧しいのか、誰の影響力が強くて、誰におもねって、誰に従い、そうでなければだれも見向きもしない、そういう冷淡な時代でした。しかしここには分け合って、誰も貧しい思いもせず、日々心を一つにして、絶えず宮もうでをなし、家ではパンをさき、よろこびと、まごころとをもって、食事を共に

し、神をさんびし、過ごすという、この上もない喜びと安心がありました。それはイエス様がマタイ20章で語られた世界でした。

20:25 そこで、イエスは彼らと呼び寄せて言われた、「あなたがたの知っているとおりに、異邦人の支配者たちはその民を治め、また偉い人たちは、その民の上に権力をふるっている。

20:26 あなたがたの間ではそうであってはならない。かえって、あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、仕える人となり、

20:27 あなたがたの間でかしらになりたいと思う者は、僕とならねばならない。

20:28 それは、人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人のあがないとして、自分の命を与えるためであるのと、ちょうど同じである」。

またピリピ2章にある世界です。

2:1 そこで、あなたがたに、キリストによる勧め、愛の励まし、御霊の交わり、熱愛とあわれみとが、いくらかでもあるなら、

2:2 どうか同じ思いとなり、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、一つ思いになって、わたしの喜びを満たしてほしい。

2:3 何事も党派心や虚栄からするのではなく、へりくだった心をもって互に人を自分よりすぐれた者としなさい。

2:4 おのおの、自分のことばかりでなく、他人のことも考えなさい。

2:5 キリスト・イエスにあっただいていてのと同じ思いを、あなたがたの間でも互に生かしなさい。

2:6 キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、

2:7 かえって、おのれをむなしうして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、

2:8 おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。

2:9 それゆえに、神は彼を高く引き上げ、すべての名にまさる名を彼に賜わった。

2:10 それは、イエスの御名によって、天上のもの、地上のもの、地下のものなど、あらゆるものがひざをかがめ、

2:11 また、あらゆる舌が、「イエス・キリストは主である」と告白して、栄光を父なる神に帰するためである。

2:46 そして日々心一つにして、絶えず宮もうでをなし、家ではパンをさき、よろこびと、まごころとをもって、食事を共にし、

2:47 神をさんびし、すべての人に好意を持たれていた。そして主は、救われる者を日々仲間に加えて下さったのである。

喜びと真心。

この喜びは、この上ない喜び、この真心は、率直さ、素朴さ、純真さ、謙遜さです。子供のような汚れなき心です。私たちは曲がった時代から救われ、頑迷、強情、ごまかしと不遜の中から救い出され、聖霊によってこの天衣無縫の純真さの光の中に生かされているのです。

2:47 神をさんびし、すべての人に好意を持たれていた。そして主は、救われる者を日々仲間に加えて下さったのである。

そんな群れを見ている人たちがいました。好意を得るところとなりました。それもまた神様の重ね重ねの恵みです。日々、救われる人たちと共に。そしてすべての群れを祝福して下さる神様がおられます。私たちも日々信じ、畏れの心、純真な心を聖霊からいただき、日々共に、皆が互いを尊敬し、大切に思い、助け合い満たしあい、神様のこの上もない喜びの中、子供のような純真な心で進ませていただきたいと願うのです。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。曲がった、邪悪な、頑迷なごまかしの時代から救い出され、この上もない喜びと真心、率直さと素朴さ、純真さ、謙遜とをもって相集うこの所へ、今日もお導きくださいまして、本当にありがとうございます。互いに分かち合い、愛し合うこの群れを見ている方々がおられます。「私たちはどうしたらよいのでしょうか」との答えを探しあぐねる方々への救いとなることが出来るように、神様どうぞ私たちのうちにいつも敬虔の心をお与えください。そして不思議と奇跡を与えてください。どうぞあらゆる苦しめる方々を神様の救いと平安の中にお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン